



平成27年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会 第68回全国高等学校バスケットボール選手権大会

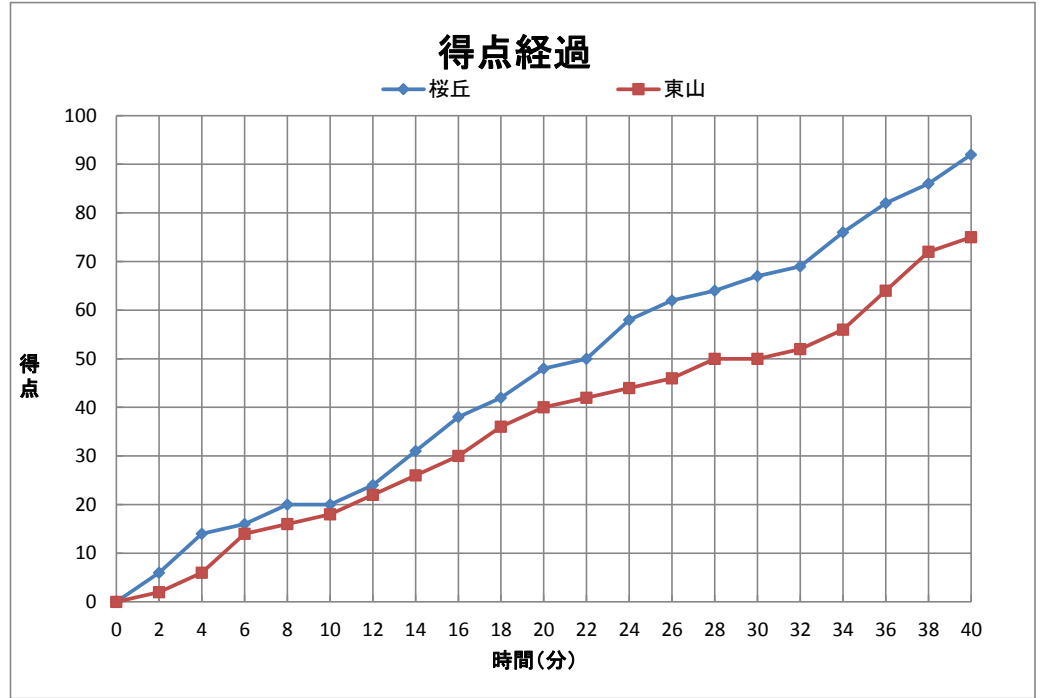
試合日	2015年8月2日
開始時間	15:40
会場	ハンナリーズアリーナ
コート	M
試合順	4

Team A	20	-	18	Team B		
	28	-	22			
桜丘	92	19	-	10	75	東山
		25	-	25		
(愛知県)		-				(京都府)

Team A 桜丘		PTS	3P		2P		FT		F	REBOUND			TO	AS	ST	BS	PT	
No.	S		選手名	成功	試投	成功	試投	成功		試投	OR	DR						TOT
4	*	鈴木 空	21	1	4	9	13	0	0	0	1	1	2	2	1	0	0	38:45
5	*	糸 辰弥	19	3	7	5	12	0	0	4	0	2	2	3	3	1	0	35:03
6	*	中尾良平	20	0	0	9	14	2	4	3	3	3	6	2	1	2	2	38:45
7	*	高橋理輝	11	1	4	4	9	0	0	2	0	3	3	8	11	2	0	38:45
8		井上 涼	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4:57
9		高木稜梧	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
10	*	MBODJ LAMINE	17	0	0	7	9	3	4	2	6	13	19	2	0	2	3	38:45
11		今田涼斗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1:15
12		DIAGNE COULOU	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1:15
13		横山 遼太郎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14		宮脇イゴル	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1:15
15		大井崇幹	2	0	0	1	1	0	0	1	1	1	2	1	1	0	0	1:15
Team / Coach:		江崎 悟	/	/	/	/	/	/	/	0	4	3	7	3	/	/	/	/
合計		92	5	15	36	62	5	8	12	15	26	41	22	18	7	5		200
RATE			33.3%		58.1%		62.5%											

Team B 東山		PTS	3P		2P		FT		F	REBOUND			TO	AS	ST	BS	PT	
No.	S		選手名	成功	試投	成功	試投	成功		試投	OR	DR						TOT
4	*	垣崎 真吾	12	0	0	5	15	2	2	2	1	1	2	0	1	3	0	40:00
5		田川 尚揮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
6		中村 瞭太	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
7	*	中村 謙太	6	0	0	3	6	0	0	2	1	0	1	0	1	2	1	26:35
8		古川 拓磨	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
9	*	カロンジ カボンゴ バトリック	16	0	0	8	15	0	1	2	8	7	15	3	2	4	1	40:00
10		松本 峻典	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	7:42
11		山内 佑真	2	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	5:43
12	*	岡田 侑大	31	0	2	13	26	5	6	3	2	1	3	1	0	3	1	40:00
13	*	藤澤 尚之	8	0	7	3	10	2	2	2	0	0	0	3	9	5	0	40:00
14		甲谷 勇平	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15		堀田 健人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
Team / Coach:		大澤 徹也	/	/	/	/	/	/	/	0	4	7	11	3	/	/	/	/
合計		75	0	9	33	73	9	11	13	16	16	32	10	13	18	3		200
RATE			0.0%		45.2%		81.8%											

主審	野口 浩正	副審	片寄 達	緒方 崇
----	-------	----	------	------



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4	
TeamA	13:38	19:18	34:26	:	:	:	:
TeamB	2:55	:	23:57	32:29	34:17	:	:

タイムアウトは経過時間で表示しています

戦評

準決勝第4試合は悲願の決勝進出を狙う愛知県代表桜丘と、前日劇的な逆転勝利を決め、勝ち上がってきた地元東山の対戦となった。

第1P、桜丘#4、5、6、7、10、東山#4、7、9、12、13、両チームマンツーマンディフェンスでスタート。立ち上がり、桜丘は#10のゴール下や速い展開からの攻撃でリズムよく得点する。一方東山は序盤、堅さが見られなかなか得点が決まらない。開始3分10対2と桜丘がリードし、東山がタイムアウト。その後、東山は#13のジャンプシュートや#9のゴール下などで勢いに乗る。しかし、桜丘も堅いディフェンスから速い攻めで加点し、一進一退の攻防が続き、第1P20対18桜丘の2点リードで終了。

第2P、先に抜け出したのは桜丘。#7の巧みなゲームメイクから#4の3P、#10のゴール下で加点。また#7自らドライブインや3Pを沈め流れに乗る。東山は#9のインサイドプレーや#7、#12のジャンプシュートで得点するが攻撃が単発になり、じわじわと点差を離され48対40桜丘8点リードで前半終了。

第3Pも先に流れを掴んだのは桜丘。巧みなスクリーンプレーからイージーな得点を重ねる。東山はハイポストから攻撃を組み立てるが、なかなか思うような攻撃をさせてもらえない。残り6分、58対44桜丘14点リードとなったところで東山が後半1回目のタイムアウト。流れを変えたい東山は、タイムアウト明けから2-3のゾーンディフェンスに切り替える。しかし、桜丘はしっかりとゾーンを攻め、第3P67対50桜丘17点リードで第4Pを迎える。

第4P、追いつきたい東山は#9のゴール下や#12のドライブインを果敢に狙うが、なかなか決まらない。東山は残り5分からディフェンスをオールコートマンツーマンに切り替え、桜丘のミス誘い出す。オフェンスでは#12にボールを集め得点を重ねていき会場が一体となり逆転を狙う。だが、桜丘は落ち着いてゲーム運び最終スコア92対75で、悲願の決勝進出を決めた。

敗れた東山は、地元京都の期待を背負い最後まで諦めないプレーをする姿は見事であった。両チームの健闘を称えたい。

戦評	西垣 仁貴
----	-------

記録	南陽高校
----	------